

【入試関係】

Q1. 入試当日に提出する活動報告書は誰が作成しますか。学校の担任の先生に書いていただくようなものでしょうか？見本を見せていただける機会はありますか。

→小学校の担任の先生にご記入いただくものではなく、保護者にご記入ください。見本に関しては9月配布予定の募集要項に掲載予定です。

Q2. 入試要項に合格発表予定時間の記載がありませんでした。タイミングと方法が決まっておりましたら教えてください。

→正式な入学試験要項には合格発表時刻が掲載されます。本校ホームページで発表致します。

【英語】

Q1. 英語の帰国生向け ARE は、どれくらいのレベルの授業を受けることが出来るのでしょうか？

→授業の大部分は、ネイティブスピーカーの教員が海外出版の教科書や副読本を使って All English で進めます。読解やエッセイライティングなどを通して、英語でのやり取りを交えながら、活気のある授業を展開します。授業のレベルはその年の在籍生徒によって変動します。参考までにお伝えしますと、帰国生試験合格者、グローバル入試合格者ともに、例年ほとんどが英検準1級～2級取得者です。

Q2. 大学受験への学部に分けての入試対策講座など、その人数制限や成績による資格制限はありますか？塾に通わず大学受験に挑む生徒はどれくらいいらっしゃいますか？

また英検の対策はどの程度対応して頂けますか？英語での面接など。宜しくお願い致します。

→入試対策講座は、Super Prep（高2後期の講座）や夏期講座等の希望制のものから、習熟度別授業の一環として行われるもの、教員と生徒のやり取りによって自然発生するものまで、多様な形態があります。特定の分野に特化した講座も開講されています。内容によっては受講に成績等の条件が課せられる場合があります。難関大受験者を含め、塾に通わず受験に挑む生徒は、正確には分かりかねますが、毎年複数います。また、塾・予備校を休暇中の講習や模試の受験などで短期的に利用している生徒は少なからずいます。英検の対策は授業で定期的に行うことはありませんが、個別に質問に答えたり、ライティング添削をしたりしています。面接対策はネイティブスピーカーの教員が予約制で、1対1で行っています。

【部活動】

Q. 管弦楽部に編入で入った際に、本人が希望する楽器(バイオリン)に就けるのでしょうか？

また、楽器は学校で貸し出し頂けるのでしょうか？

→管弦楽部は、様々な楽器によって編成されるオーケストラで活動しています。そのため、どのパートでも引き受けられることを入部の条件にしています。また、楽器は個人負担を原則としていますが、パートによっては学校の貸し楽器を使用することもできます。（バイオリンは貸し楽器の用意はありません。）